

7th Biomass Pellets Trade & Power

16 - 19 May 2016, Tokyo
Tokyo Marriott Hotel



www.cmtevents.com

メイン会議は日本語英語同時通訳を提供します

The main conference will provide a Japanese-English simultaneous interpretation

第1日目-5月16日月曜日

～別途ご予約が必要です～

会議前ワークショップ：
ブラックペレットについて
(09:00 - 17:00)

進行役として、オランダエネルギー研究財団 ECN および RWE オランダなど、バイオマス専門各社

ワークショップでの検討課題

- 08:30 ワークショップ受付開始とコーヒーサービス
- 09:00 はじめに；
現代のブラックペレットとその背景
- 10:00 焙煎（トレファイド）および水蒸気爆砕処理済みペレット：その利点と間
- 11:30 現時点でのペレット技術概観
- 12:30 ワークショップおよび昼食
- 13:30 市場の発展
- 15:30 微粉炭火力発電所におけるブラックペレットの混焼
- 16:45 ブラックペレットの将来展望
- 17:00 結論及び、ワークショップの終了

第2日目-5月17日火曜日

本会議 第1日目

- 08:00 受付開始と コーヒーサービス
- 09:00 議長あいさつ
- 09:10 電力市場改革が日本の混合発電に与える影響
Miho Kurosaki, Power & Gas Senior Analyst
Bloomberg New Energy Finance
- 09:35 日本の電力業界におけるバイオマスの可能性と、固定価格買取制度について
 - ・震災前と震災後の電源構成と二酸化炭素の排出
 - ・日本の固定価格買取制度（FIT）
 - ・FITにおける実際の電力買取り量
 - ・バイオマスにおける住友商事の取組み
 住友商事株式会社
バイオマス担当部長
草野 善信氏
- 10:10 バイオマス・ペレット貿易と発電会議展示場にてネットワーキングおよび軽食・ドリンク
- 10:50 韓国 RPS 法およびバイオマス需要・輸入市場の見直しに関する近況報告
 - ・韓国における炭素排出権取引の進展
 - ・地域熱供給、再生可能エネルギー熱政策（RHO）および国産・輸入バイオマスの機会
 Junghun Kim, Manager
EnerOne, Inc.

- 11:20 石炭による二酸化炭素排出規制に向けた中国の努力と、それに対応するバイオマス活用への影響および機会
Weiquan Wang, Vice Secretary General
China Renewable Energy Industry Association
Rainy Qian Wei, Asst. GM Sales
Jiangsu Muyang Group Co. Ltd.
- 12:10 日韓：両国の諸政策の進展状況と、国際的に取引されるバイオマスに与える影響
 - ・市場発展
 - ・需要の展望
 - ・諸政策の進展状況と、需要に与えうるその影響
 - ・需要展望の再考察：恐らくこうなるであろう、将来のペレット需要
 Matt Boveland
Senior Consultant Bio Solutions
Indufor Asia Pacific Ltd
- 12:40 ネットワーキングおよび昼食
- 14:00 木質ペレットのサプライチェーンに伴うリスク（森林、原材料輸送、製造/ペレット化、港への輸送、保管、船積み、海上輸送、荷揚げなど）
Vaughan Bassett
Senior Vice President, Sales & Logistics
Pinnacle Renewable Energy
- 14:25 タイにおけるバイオマスペレットと電力状況
 - ・バイオマス原料供給の状況と進展
 - ・バイオマス電力の国内需要と展望
 - ・木質ペレット生産能力と輸出能力
 Wattanapong Thongsoi, Managing Director
Tipawat Corporation Limited

- 14:50 ベトナム産バイオマスペレット
 - ・大きな可能性を秘めた、若い成長ビジネス
 - ・日本市場を意識した、持続性のあるビジネスにするための準備
 - ・アジアからのバイオマスの安定供給を維持するために、正しい製品の選択とありうべき価格
 Andy Bui, International Sales Director
An Viet Phat Energy Co., Ltd
- 15:25 パーム椰子殻（PKS）市場力学の分析：差し迫る需給の不均衡
Oliver Mauss, Managing Director
Asia Resource Partners Pte. Ltd.
- 15:45 バイオマス・ペレット貿易と発電会議展示場にてネットワーキングおよび軽食・ドリンク
- 16:15 発電用燃料としての木材チップの国際市場と需要動向
- 16:45 ファイバーの争奪戦。国際需給関係が日韓へのバイオマス供給価格に与える影響
 - ・日韓以外におけるバイオマス需要のまとめ
 - ・日韓への主要な供給オプション
 - ・その供給を制限する可能性のある諸問題
 Cindy Dawes, Director
PVM Oil Associates Ltd.
- 17:15 バイオマス供給パネルディスカッション
- 17:45 第1日目終了

17:50 - 18:50

バイオマス・ペレット貿易と発電会議展示場にて
ネットワーキングおよびカクテルパーティー

7th Biomass Pellets Trade & Power

16 - 19 May 2016, Tokyo
Tokyo Marriott Hotel



www.cmtevents.com

第3日目-5月18日水曜日

本会議第2日目

08:00 ~ 09:30 朝食公演 - 固形バイオマス燃料の特徴および調達先の考察

1. バイオマス燃料オプション

- 木材チップ (国産・輸入)、木質ペレット (普通ペレット、ブラックペレット)、PKS、EFB、パガス、その他オプション
- 各燃料の物理的・科学的特徴とコスト比較の考察
- 現時点で可能なバイオマス燃焼システムとその各アプリケーションにおける最適な燃料オプションの決定

2. バイオマス調達先オプション

- 世界各地の異なる調達先を検討。
- ファイバーの特徴、長期サステナビリティ、運送、社会的・政治的リスク、為替リスクの考察。
- バイオマス調達における環境的・経済的考察。
- バイオマス調達手順・契約のオプション

3. バイオマスの環境的利点

- バイオマス利用はなぜ論議的になり、多くのNGOがバイオマス利用に反対するのか？
- 温室効果ガスに関する事実と迷信とは？
- なぜバイオマスのサステナビリティ実現が重要なのか、その理由と、ヨーロッパの実例から学べる事柄。

4. バイオマスのサステナビリティ実現

- 調達先の国の法律に頼るのみでは、なぜ不十分なのか？
- 認証とは何か、またその制度確立に至るまでの歴史とは？
- 日韓バイオマスセクターへのアドバイス

William Straus, President, FutureMetrics LLC
& Gordon Murray, Executive Director, WPAC

09:30 議長あいさつ

09:35 混焼方法における効率の良いブレンド：アジア市場のためにヨーロッパの事例から学べること

Edze Diemer, Senior Business Developer, Biomass & Energy Efficiency, Energy Research Centre of the Netherlands (ECN)

10:00 焙煎 (トレファクション、半炭化) 技術および電力会社による使用実績に関する近況報告

11:00 バイオマス・ペレット貿易と発電会議展示場にてネットワーキングおよび軽食・ドリンク

11:30 王子グループによる、新FIT制度に於けるバイオマスエネルギーへの関わりについて

- 王子グループ概要
 - 日本におけるFIT制度バイオマスボイラーの状況
 - 日本での木材原料市場の展望
- 王子ホールディングス株式会社
取締役 常務グループ経営委員
資源環境ビジネスカンパニープレジデント
鎌田 和彦氏

11:55 転機を迎えるFIT制度下での日本の木質バイオマス発電

- FIT制度下でのバイオマス発電の現状
- 既存の木材業界との対立
- 日本における輸入木質バイオマスの可能性

日本製紙連合会

常務理事 上河 潔氏

12:20 バイオマス・プロジェクト取進めにおけるリスク軽減-パートナーシップを通じて

- 津軽バイオマス発電プロジェクトおよび持ち株会社/資産会社/事業会社に適用される組織構造について
- 当構造の優位性：リスクの参加当事者への適切な分配

Christophe Maquet
Director Energy Business Line
Veolia

株式会社タケエイ
エネルギービジネスライン 取締役
クリストフ・マケ氏

13:00 ネットワーキングおよび昼食

14:20 韓国における IPP バイオマス発電所の操業 (蔚山 IPP のSRF とバイオマス利用のケーススタディ)

- 蔚山での IPP とバイオマス調達問題
- 蔚山 IPP における燃料の経済性比較：SRF 対バイオマス
- 韓国における IPP バイオマス発電の将来性

Michael Paik, Executive Director
Lantern Advisory & Investments

14:45 バイオマス混焼をおこなう微粉炭ボイラー式火力発電所のデザインおよび建設

- 日本の状況の将来展望
- バイオマス混焼率を上げるための新技術
- バイオマス供給に関する要望条件

株式会社ガスアンドパワー

電力事業部部長
取締役 濱口 喜宏氏

15:15 微粉炭式火力発電所での木質ペレットの混焼

- バイオマス混焼率最大25%アップ可能
- 微粉炭粉砕機の後付けによる木材ペレット混焼率大幅アップ可能

株式会社 IHI

電力事業部燃焼技術部主査・課長
大野 恵美氏

15:45 10年間にわたるバイオマスの高率混焼実施からみられる技術的展望

Dr. Ir. Wim Willeboer
Strategic Engineer Process Technology
RWE Generation NL

16:20 最終ディスカッションの後、会議終了

第4日目-5月19日木曜日

~別途ご予約が必要です~

会議後見学ツアー：
相馬共同火力発電新地発電所
(07:00 - 20:00)

新地発電所詳細：
微粉炭ボイラーでの木質ペレットと石炭の混焼
混焼率：現時点最大3%

- 07:00 東京マリOTTホテル出発
- 08:00 新幹線で仙台駅まで移動
- 10:00 社会見学および昼食
- 13:00 新地発電所見学ツアー
- 16:00 仙台駅に向けて出発
- 17:30 東京駅行き新幹線乗車
- 19:15 東京駅到着
- 20:00 東京マリOTTホテル到着、見学ツアー終了

お一人様参加費用:

パッケージ1 (USD) 2785.00
会議：5月17日-18日
+ 会議前ワークショップ：5月16日
+ 見学ツアー：5月19日

会議 (5月17日-18日) (USD) 1895.00
お一人様通常参加費用
3人以上のグループ (お一人様) 1395.00

オプション・会議前ワークショップ-5月16日 (USD) 995.00
会議前ワークショップ：ブラックペレットについて

オプション・会議後見学ツアー-5月19日 (USD) 495.00
相馬共同火力発電新地発電所

オンライン申し込み割引 (お一人様) (USD) -200.00
3月31日までにピザまたはマスターカードでお支払い
複数の割引の併用はできません

3つのお申し込み方法

オンライン: www.cmtevents.com
Eメール: hafizah@cmtevents.com
電話: (65) 6346 9218